

ウォークブル^{すいしん}推進計画
町田駅^{まちだえき}周辺^{しゅうへん}地区^{ちく}
(第2回変更)

都市再生^{としさいせい}推進^{すいしん}法人^{ほうじん} 株式^{かぶし}会社^{かいしゃ} 町田^{まちだ}まちづくり^{こうしゃ}公社

令和5年11月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	東京都	市町村名	まちだし 町田市	地区名	まちだるきしゅうへんちく 町田駅周辺地区	面積	24.6	ha							
計画期間	令和	3	年度	～	令和	6	年度	交付期間	令和	3	年度	～	令和	4	年度

目標

大目標：賑わいや交流に溢れるまちの実現

目標1：多様なアクティビティが生まれる空間の創出

目標2：安心してゆっくり過ごせる空間の創出

目標3：また訪れたい魅力ある空間の創出

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

JR横浜線と小田急線が交差する町田駅周辺地区は、1日平均約40万人の乗降客数を誇る交通ターミナル都市であり、大型商業施設や多数の商店街が共存する商業集積地区である。ただし、近年は周辺都市において大型商業施設開発や駅前開発が行われ、町田駅周辺地区は突出した存在ではなくなっており、町田市の商業売上は減少傾向にある。このような動向の中でも、選ばれ続ける活気あるまちであるために、新たな取り組みが求められている。

町田市では、「まちだ未来づくりプラン」(平成24年度～令和3年度)で掲げる「町田駅周辺の魅力を向上させるプロジェクト」や、「町田市都市計画マスタープラン」で掲げる町田中心地域のまちづくり方針に基づき、平成28年7月に「町田市中心市街地まちづくり計画」(平成28年度～令和12年度)を策定した。「町田市中心市街地まちづくり計画」では、「賑わいや交流に溢れ、まちに関わるみんなの夢がかなうまち」の実現を目指し、10のプロジェクトに取り組むこととしている。10のプロジェクトのうち、プロジェクト2「個性と魅力あふれる商店街づくりプロジェクト」は、快適な歩行空間の実現と商店街が持つ個性や魅力の維持・向上を図り、「町田らしい商店街」づくりを行う取り組みである。また、プロジェクト6「原町田大通り憩いと賑わい空間を創造するプロジェクト」は、多摩都市モノレールの町田方面延伸を見据えて、原町田大通りの道路空間を活用し、憩いの空間づくりや商店街の賑わいを連続させる空間づくりを行う取り組みである。この取り組みを、官民協働で推進する。

課題

・町田市中心市街地まちづくり計画策定時のアンケート調査において、当地区に歩行者のための憩いの空間が不足していることが指摘されており、来街者にゆっくりと買い物や食事を楽しんでもらうため、ゆとりのある憩いの空間創出が求められている。

・原町田大通りは人が滞留する空間になっておらず、原町田大通りの左右に伸びる歩行者優先道路の商店街を分断しているため、来街者の多様な活動を創出する空間を生み出すことが求められている。

・歩行者優先道路の商店街に荷捌き等の車両が頻繁に進出し歩行者の妨げになっているため、歩行者優先道路の商店街への車両の進入を抑制することにより、快適な歩行空間の実現と安心して過ごせる商店街の実現が求められている。

・商店街の賑わいを維持するため、無電柱化事業による道路空間の再整備に合わせ、沿道空間の利活用等の誘導を図ることにより、沿道の商店と通りが一体となった個性と魅力ある通りの実現が求められている。

・周辺資源の一つである芹ヶ谷公園までのアプローチ動線として、魅力的な歩行者空間の実現が求められている。

将来ビジョン(中長期)

①まちだ未来づくりプラン(平成24年度～令和3年度)(平成23年度策定)

未来づくりプロジェクト「2 町田駅周辺の魅力を向上させるプロジェクト」

町田駅周辺地域の魅力をより一層向上させる

②町田市都市計画マスタープラン(平成11年度策定、平成23年度改定)

地域別構想編(平成25年度改定)「8 町田中心地域」のまちづくり構想

・界隈性と雑多性にあふれ、多くの人々に親しまれている都市空間を大切にしつつ、駅前にふさわしい土地利用や基盤の強化を図ることで、活力が生まれ続けるようなにぎわいのあるまち

・コンベンション施設などの新たな文化・芸術機能の導入、人々が憩える広場や魅力ある道路空間の創出などにより、子どもからお年寄りまで多世代が楽しめる場の充実を図り、買い物以外にも楽しめる、懐の深い、回遊性のある中心市街地の形成

③町田市中心市街地まちづくり計画(平成28年度～令和12年度)(平成28年度策定)

「“夢”かなうまち」賑わいや交流に溢れ、楽しい時間や新しいことが生まれ続けたり、人々の出会いや活動のつながりが広がりが続くような、まちに関わるみんなの夢がかなうまち

・駅が快適・便利

・まちに行く目的がたくさんある

・まちの魅力が向上しゆっくり過ごせる

・多くの出会い・活動が生まれる

・ライフスタイルの選択肢がたくさんある

・通りが快適で歩いて楽しい

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
アクティビティの数	種類	原町田大通りで見られる自発的なアクティビティの数(種類)	原町田大通りに憩いと賑わいの空間をつくることで、通りでの過ごし方が多様化し、新たなアクティビティが増加する。	4種類	R2年度	8種類	R6年度
滞在時間2時間以上の人の割合	%	町田駅周辺の中心市街地で滞在時間2時間以上の人の割合	原町田大通りに憩いと賑わいの空間をつくることで、滞在快適性が向上し、滞在時間が増加する。	52.4%	H31年度	55.2%	R6年度
町田駅周辺の中心街を訪れる頻度	%	町田駅周辺の中心市街地を2週間に1回以上の頻度で訪れる人の割合	原町田大通りに憩いと賑わいの空間をつくることで、「町田の顔」にふさわしい印象的な大通りを実現し、足を運ぶ人が増加する。	41.7%	H31年度	48.4%	R6年度

都市再生整備計画の整備方針等

様式(1)-③

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
【多様なアクティビティが生まれる空間の創出】 ●道路空間を活用し、憩い、賑わう滞留空間を創出するため、ベンチ、テーブル・椅子、植栽、オープンカフェ等を設置する。 ●道路空間を活用したアクティビティを創出し、交流を促進するため、実験的に多様な過ごし方のできる空間整備や、イベント実施等を行う。		【基幹事業】 ・道路区域内への滞留空間の創出 【関連事業】 ・滞在環境整備事業(社会実験):原町田大通り滞留空間の整備 【その他】 ・原町田大通りの滞留空間を活用したイベント実施
【安心してゆっくり過ごせる空間の創出】 ●原町田中央通りの賑わいを維持し、魅力を高めるため、沿道空間の利活用等の誘導を図るガイドラインを整備する。 ●歩行者優先(道路)の商店街の(許可)車両の往来を減少させることで、人々が安全・安心に過ごせる空間を創出するために、原町田大通りに荷捌きスペースを新たに整備する。		【関連事業】 ・滞在環境整備事業(コーディネート等):原町田中央通りのガイドラインの整備 ・滞在環境整備事業(社会実験):原町田大通り荷捌きスペースの整備 【その他】 ・無電柱化整備事業:原町田中央通り
【また訪れたい魅力ある空間の創出】 ●原町田大通り付近の広場公園(まちだの泉)を移設し、原町田大通りと一体感を持たせることで、人々の憩いや交流の場を創出する。 ●デッキ空間や原町田大通りを活用し、エリアマネジメント広告の掲出により、まちの表情を創出する。 ●既存の民間交番の利活用により、まちの案内機能や食事購買機能を担う、交流拠点の創出に向けた社会実験を行う。		【基幹事業】 ・交流拠点の社会実験 【関連事業】 ・公園:広場公園の移設 ・道路区域内への屋外広告物の掲出:原町田大通り、2号デッキのエリアマネジメント広告の掲出
その他		
【町田市中心市街地まちづくり計画の概要】 ・賑わいや交流に溢れ、楽しい時間や新しいことが生まれ続けたり、人々の出会いや活動のつながりが広がり続けるような、「夢かなうまち」の実現を目指す。 【その他官民協働の取り組み事例】 ・中心市街地の活性化を目的に株式会社町田まちづくり公社設立(平成11年) ・町田市中心市街地まちづくり計画の策定(平成28年7月) ・株式会社町田まちづくり公社を都市再生推進法人に指定(令和元年9月)		

様式(1)-④

(金額の単位は百万円)

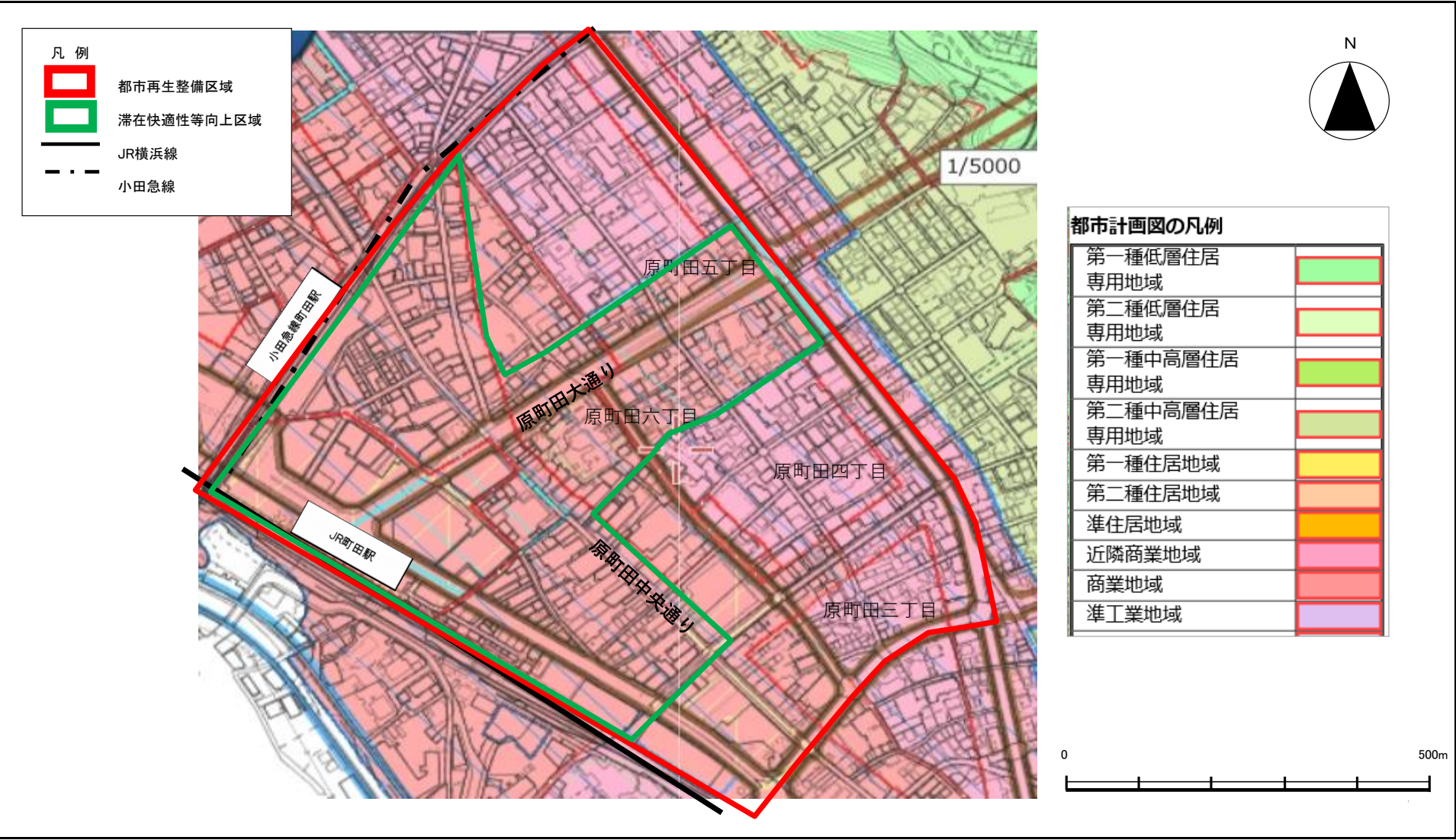
...A

...B

1

6.6

町田駅周辺地区(東京都町田市)	面積	24.6(13.4) ha	区域	原町田三丁目の一部、原町田四丁目の一部、原町田五丁目の一部、 原町田六丁目の一部
-----------------	----	---------------	----	---



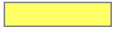
滞留空間を整備する予定の区域



荷捌きスペースを整備する予定の区域



広場公園を移設する予定の区域



交流拠点の社会実験を行う予定の区域

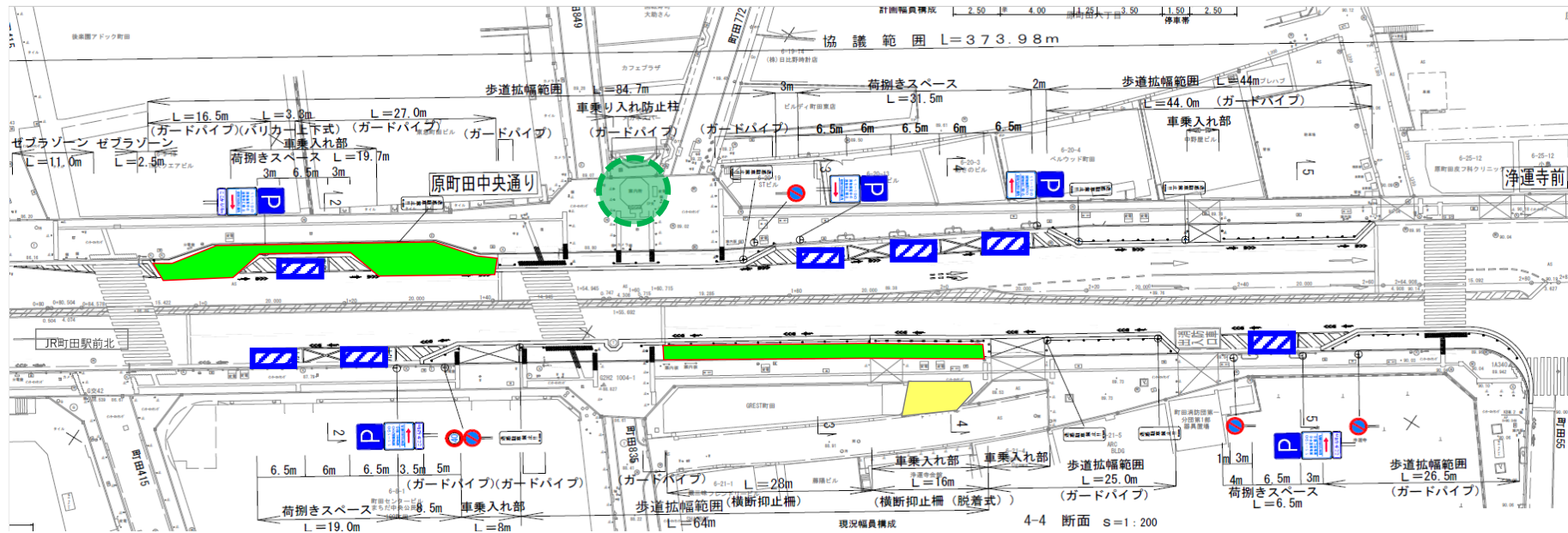


位置図

小田急線 町田駅

原町田大通り

JR横浜線 町田駅



Scale 0 50m